

豊かな自然と文化に包まれ、
誰もがいきいきと輝いて、幸せに暮らすまち

福祉の理想郷づくり

新しい名張市総合計画基本構想(素案) 概要版

はじめに

新しい総合計画(素案)に対する意見、感想をお寄せください。

現行の総合計画は平成 13 年 3 月に議決を経て策定したもので、平成 13 年度からこの計画に基づき市政運営を行ってきました。

しかし、ここ数年間の国や本市を取巻く社会経済等の環境変化は著しく、計画策定の土台(基礎的要件)となっているもののうち、将来人口予測や財政計画などについて大きな修正が必要となりました。

また、市民との協働をさらに積極的にすすめるための仕組みや、民間の経営手法を参考とする新しい行政マネジメントシステム導入の必要性、さらにはより心の豊かさを求める新しい価値観の広がりなど、社会状況への的確な対応が必要となっています。

こうしたことから、現計画の基礎的要件の見直しを行うとともに全面的な修正を加え、明確なビジョンと新たな視点を取り入れた実践的で戦略的なまちづくりの指針とするため、新しい総合計画の策定をすすめることにしました。

市では、市民の皆さまとともに、幅広い議論や検討を重ねて計画づくりを行うためのたたき台として、新しい総合計画の素案を作成し、公表することにしました。

名張の未来は、私たち自身が選択し、私たちの力で築いていかなければなりません。市民の皆さまと力を合わせてまちづくりをすすめるために、この素案に対して、率

直なご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。



市内各地区において、新しい総合計画(素案)の住民説明会を開催しますので、多くの皆さまのご参加をお願いします。 [説明会日程](#)(説明会の日程は「総合計画住民説明会結果」PDFファイルをご覧ください。)

新しい総合計画について、意見交換を行うため、グループ・団体等を対象に、「出前トーク」を実施します。ご希望の方は、広報対話室(63 - 7402 info@city.nabari.mie.jp)までお申し込みください。

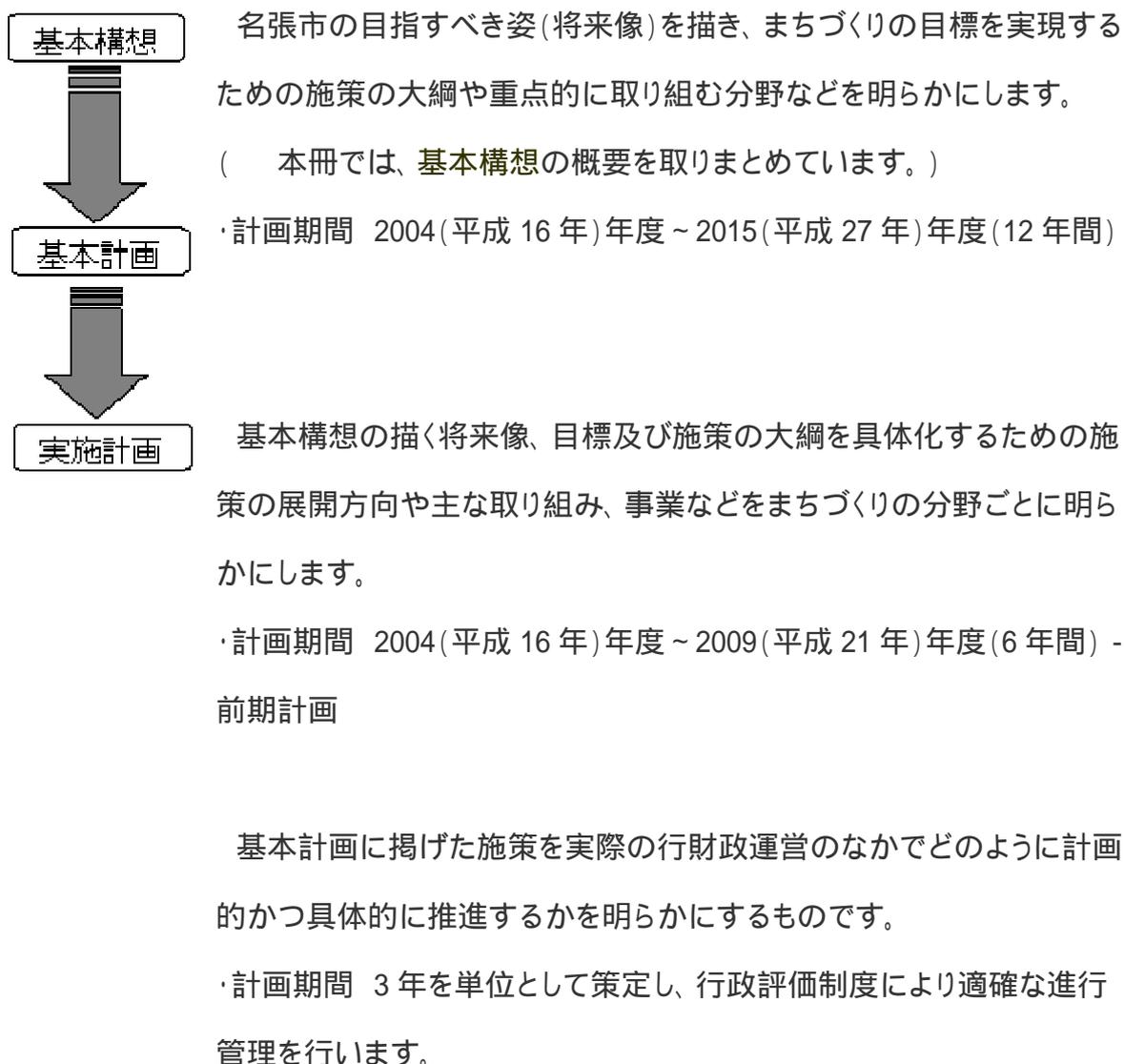
総合計画について

総合計画は、名張市の最も基本となる計画であり、さまざまな分野別の計画や施策の基本的な指針としての役割を持つものです。

計画の性格

総合計画は、名張市の行政や関係機関にとどまらず、市民や市民団体、企業など多様な主体に共通するまちづくりの指針としての役割を果たすことが期待されます。

計画の概要



基本構想の構成



序論

- 第1節 策定にあたって
- 第2節 社会潮流と名張の可能性
- 第3節 まちづくりの基本的な課題

まちづくりの理念と将来都市像

- 第1章 まちづくりの基本理念
- 第2章 将来都市像とまちづくりの基本方向
- 第3章 土地利用構想

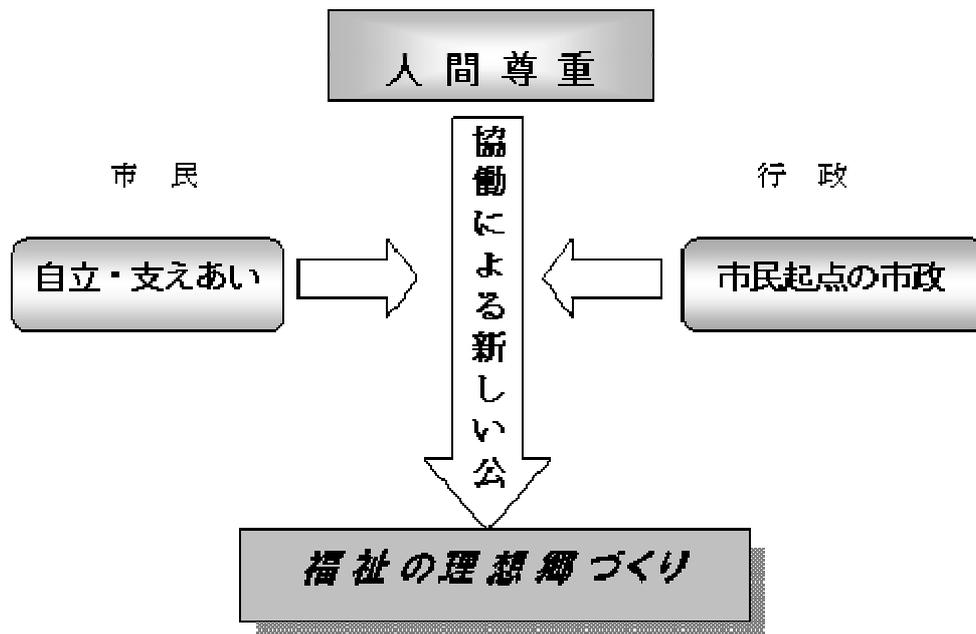
基本政策

- 第4章 まちづくりの戦略
- 第5章 地域づくり戦略
- 第6章 政策の大綱

まちづくりの基本理念

人間尊重を原点に、自立と支えあいで作る福祉の理想郷

市民の誰もが生涯を通して自らの夢に挑戦しながら生きがいを持ち、安心して暮らせるよう、すべての人がお互いを認めあう「人間尊重」を原点に据え、市民は**自立**を基本に、多様な価値観や個性を尊重しあい**支えあう**とともに、行政は「市民の幸せ」をすべての基準とする**市民起点の市政**をすすめ、市民と行政がお互いの役割と責任を自覚しながら、協働による「**新しい公**」()を確立することで、力をあわせて、**豊かで持続可能な地域社会を築きあげていく**ことを目指し、まちづくりの基本理念を、「人間尊重を原点に、自立と支えあいで作る福祉の理想郷」とします。



「新しい公」とは ... 多様な主体が「公」の活動に積極的に参画し、社会の担い手としての役割と責任を自覚しながら、地域課題の解決に向けて主体的に行動する新しい市民社会

福祉の理想郷の「福祉」とは、地方自治法第1条の2で「地方公共団体は住民の福祉の増進を図ることを基本に、」と定めているように、広義の福祉(住民の幸せ)を意味しています。21世紀をむかえ、時代の大きな転換点にある今、地方公共団体としての本旨である「市民の幸せの追求」を改めてまちづくりの理念に掲げるとともに、市民の皆さんと力をあわせて理想郷(ユートピア)の実現を目指します。

将来都市像とまちづくりの基本的な方向

将来都市像

豊かな自然と文化に包まれ、
誰もがいきいきと輝いて、幸せに暮らすまち

名張市は、市民の定住意向が非常に高い生活都市(暮らしのまち)です。

この最大の地域個性である暮らしのまちを視점에、恵まれた水と緑の自然環境や、先人が築いてきた豊かな歴史・文化、蓄積してきたさまざまな都市機能など、市民の財産を大切に活かすとともに、その恩恵を誰もが等しく受けながら、人と人との心がふれあう地域社会のなかで、一人ひとりが真に幸せを実感できるまちの創造を目指します。

まちづくりの基本方向

<基本理念>

—人間尊重—
福祉の理想郷づくり

<将来都市像>

豊かな自然と文化に包まれ、
誰もがいきいきと輝いて、幸せに暮らすまち

人(暮らしの主体)

<暮らしの関わり>

人

自然

文化

<まちづくりのキーワード>

《共助》

《共生》

《共創》

<まちづくりの
基本方向>

ふれあいと共助で築く、
すこやか生活都市

人と自然が共生する、
うるおい生活都市

まちと文化を共に創る、
いきいき生活都市

ふれあいと共助で築く、すこやか生活都市

誰もが人間として尊重され、自由に社会参加しながら、いきいきと暮らし続けることができるよう、共に助けあい、支えあふれあい豊かな地域社会づくりをすすめ、自立を基本に、ふれあいと共助で築く「すこやか生活都市」の創造を目指します。

人と自然が共生する、うるおい生活都市

名張の財産である豊かな水と緑の環境を守り育て、自然環境とのふれあいのなかで地域の豊かさを実感できる潤いのある市民生活を実現するなど、人と自然が共生する「うるおい生活都市」の創造を目指します。

まちと文化を共に創る、いきいき生活都市

蓄積してきた様々な都市機能の有効活用を図るとともに、地域ごとの個性を活かしたまちづくりをすすめ、安全で快適に暮らせる生活空間の形成を目指します。

また、豊かな歴史・文化資産や名張の風土に培われてきた暮らしの文化を保存、活用するとともに、人々の多様な交流のなかから新しい文化を創造し発信するなど、まちと文化を共に創る「いきいき生活都市」の創造を目指します。

土地利用構想

将来都市構造

暮らし広がる連携型都市構造の形成

名張固有の地理的、自然的特性を基礎として、まちづくりの目標を実現するため、「拠点」、「軸」及び「空間」づくりをすすめることにより、分散型の都市構造から連携型の都市構造への転換をすすめ、潤いのある都市空間を創造します。

地域特性に応じた多様な拠点づくり

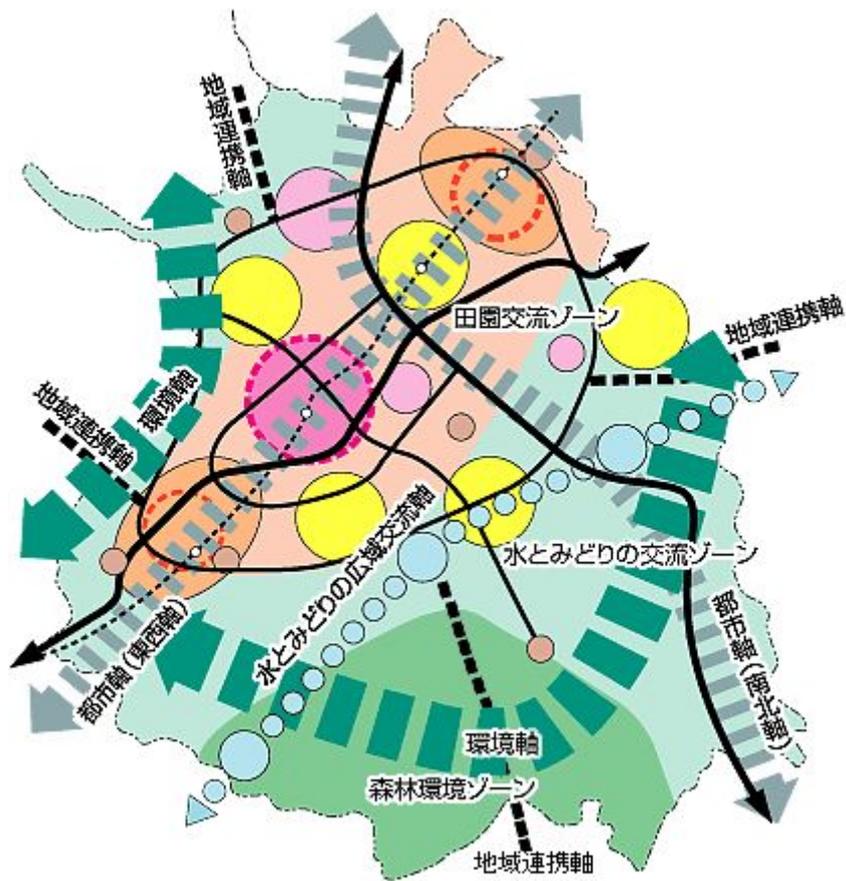
市街地や集落地域、それぞれの地域個性が輝く、誇りの持てる地域づくりをすすめます。

地域連携を促進する重層的なネットワーク(軸)づくり

中心市街地を核として、多様な拠点を結ぶ市内外の重層的なネットワークによる交流・連携を促進し、相互補完による地域間の豊かな関係を創造します。

広がりのある豊かな空間づくり

身近に豊かな自然とふれあうことのできるゆとりある居住環境や利便な都市的サービスを享受できる豊かな生活空間と魅力ある生活文化の創造を目指します。



【凡例】

- | | |
|---------------|-------------|
| 生活文化拠点 | 地域連携軸 |
| 集落居住拠点 | 環境軸 |
| 都市拠点 | 水とみどりの広域交流軸 |
| 産業拠点 | 水とみどりの交流ゾーン |
| 観光・レクリエーション拠点 | 森林環境ゾーン |
| 農業拠点 | 田園交流ゾーン |
| 都市軸 (東西軸・南北軸) | 農業ゾーン |
| 市域交流軸 | |

土地利用構想

土地利用の基本方針

- 自然と人が共生する計画的な土地利用
- まちと自然が調和する質の高い土地利用
- 人と人、地域と地域の交流が広がるきめ細かな土地利用

土地利用の基本方向

将来の都市構造の実現に向けて、市域を次の3つのゾーンに区分し、それぞれのゾーンがもつ地域特性を生かしながら、計画的で質の高い土地利用を図ります。

市街地ゾーン

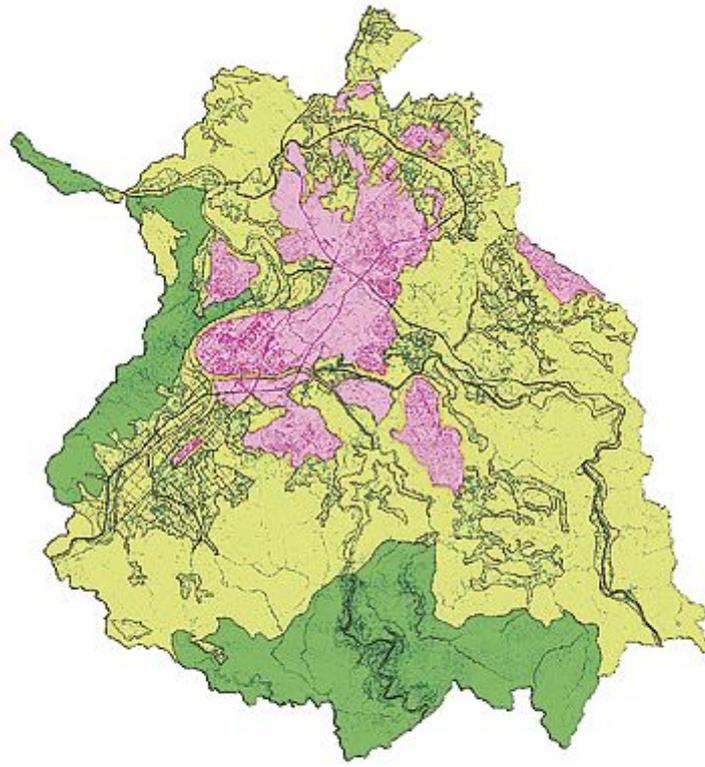
都市的な土地利用を図ることにより、名張市の顔となる魅力ある中心市街地の整備、住宅地の潤いのある住環境の保全、整備などをすすめ、名張らしさを大切にした快適で質の高い都市空間を創造します。

緑の共生ゾーン

市街化を抑制し、集落の生活環境の整備や農地、森林環境の保全、活用をすすめるとともに、多様な地域間の交流を促進し、自然と人が豊かにふれあう、ゆとりと安らぎに満ちた空間を創造します。

自然保全ゾーン

豊かな森林の育成、管理をすすめ、自然環境を積極的に保全します。



【凡例】



市街地ゾーン



緑の共生ゾーン



自然保全ゾーン

まちづくりの戦略

将来都市像を効果的に実現するため、次の視点に基づき、名張市の地域個性と資源を最大限活用しながら、独自の明確な地域戦略を構築し、リーディングプラン(先導的な計画)として重点的な取組みをすすめます。

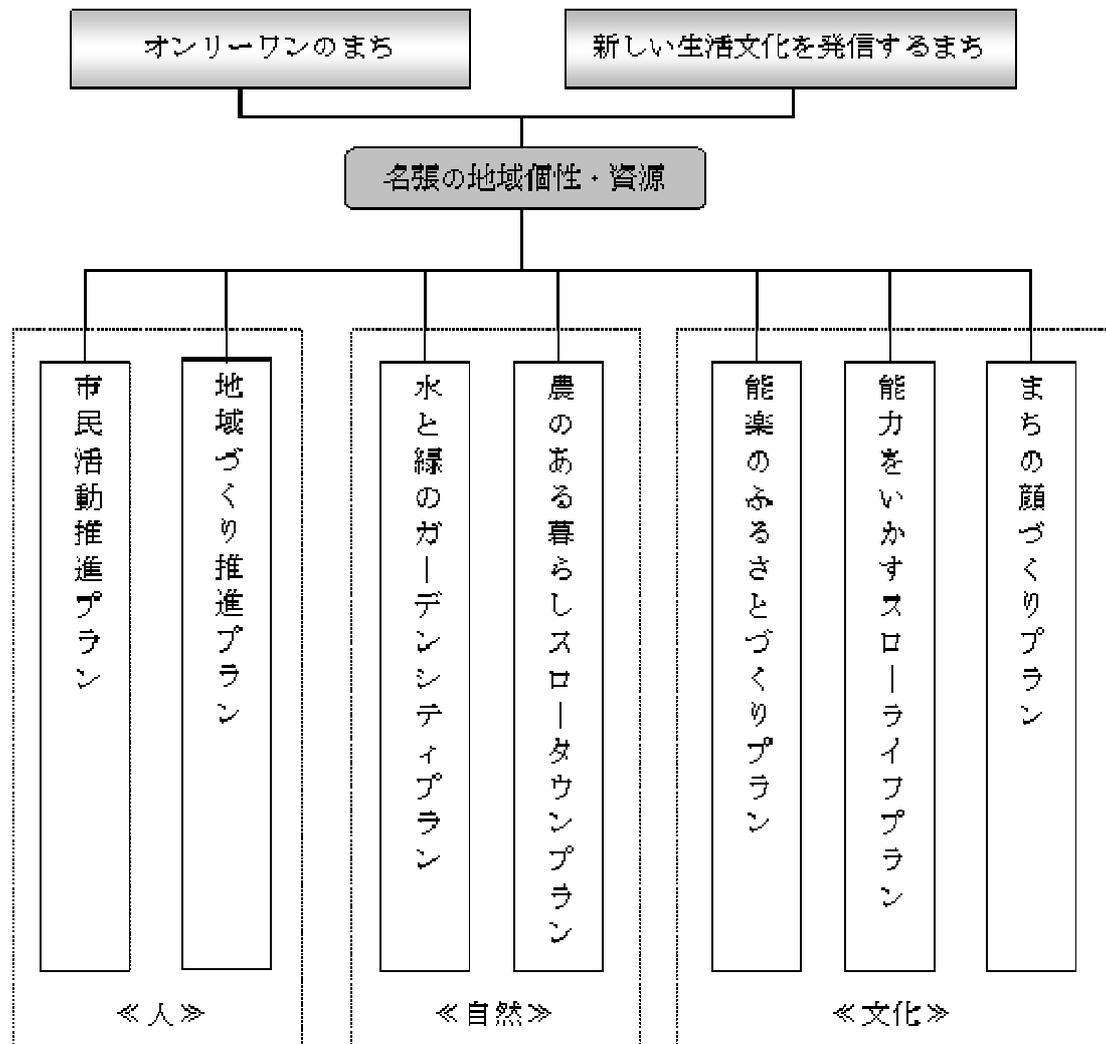
戦略の視点

オンリーワンのまち

「暮らしのまち(生活都市)」を磨きその質を高めていくことを基本としながら、名張の様々な地域資源を最大限活用し、個性的で他にはない、誇りの持てるふるさと「**オンリーワン(唯一)のまち**」を創造します。

新しい生活文化を発信するまち

「スピードと効率」のもたらす価値を尊重しながら、「スロー」というもう一つの価値観を見つめ直し、名張らしさを生かしながら、手間ひまをかけることで得られる満足感や充実感を感じられる生活スタイルを創造するなど、ゆとりと潤いのある「**新しい生活文化**」を発信します。



名張の地域資源と個性

様々な背景を持つ多様な市民

水と緑の豊かな自然環境

豊富な歴史・文化資源

良好な住環境やこれまでに蓄積してきた社会資本等

リーディングプラン

市民活動推進プラン

NPO(非営利民間組織)やボランティアなど市民活動が幅広い分野で活動を繰り広げられるよう、支援センターを中心に育成、支援をすすめます。

市民活動を中心とした、新しい地域福祉サービス事業のあり方を皇學館大学社会福祉学部などと共同で研究をすすめるとともに、その仕組みを構築します。

市民活動が円滑に継続して行われるよう、地域通貨の導入など市場原理に基づ

かない地域内循環型の新しい経済の仕組みづくりに取り組みます。

地域づくり推進プラン

地域づくりの活動が各地で活発に展開されるよう、地域交付金など資金面での支援制度の充実や人的支援、情報提供、地域内公共施設の有効活用などをすすめます。

地域特性を活かした個性あるまちづくりを行うため、地域ごとのまちづくりのビジョン(構想)の策定をすすめるとともに、可能な限り行政計画等に反映します。

一人ひとりが地域の一員として、健康福祉などの地域課題に理解と関心を深め、互いに支えあい助けあう心豊かな地域社会づくりに取り組みます。

水と緑のガーデンシティプラン

名張川を、清流を湛える多くの支流とともに、市民生活に潤いと安らぎを^える貴重な資源として、周辺環境を整備するなどその保全・活用を図ります。

多面的な役割を果たす森林の適正管理をすすめるとともに、都市との交流による新しい森林管理の仕組みづくりに取り組みます。

園芸福祉の普及に努めるとともに、空き地や公園などの緑化運動、景観形成活動につなげ、水と緑の美しい庭園のようなまち(ガーデンシティ)を創造します。

農のある暮らし、スロータウンプラン

土にふれ、農作物づくりを行いたいと考える多数の都市住民と、厳しい営農環境にある市内の農家を結び、市民農園や水田の里親制度など多様な農業体験機会の充実を図るなど、両者が豊かに交流する仕組みづくりをすすめます。

ファーマーズマーケット(農産物直売所)の設置をはじめ、新鮮で安全・安心な地元の農産物を市内の消費者にすすめます。

能楽のふるさとづくりプラン

世界無形遺産に登録された名張の文化資源でもある能楽を活用し、名張薪能・能楽教室等の積極的な展開をはじめ、創作狂言など名張独自の能文化の創造に取り組むとともに、能楽に関係する市町村との交流や全国に向けた情報発信をすすめます。

市内に点在する歴史・文化資産や観光資源のネットワーク化やモデルコースの設定を図るとともに、地域の伝統文化を継承、発展させることができるよう、地域づくりの活動や、農林業、観光など産業面との連携を図りながら取り組みます。

能力をいかす、スローライフプラン

学習機会や学習情報の充実を図るとともに、大学等と連携して雇用や社会貢献等につなげるリカレント教育(再教育)を実施するなど、生涯学習のまちづくりを推進します。

個人の能力や学習成果などが社会のなかで充分活かされるよう、人材バンクなどコーディネート(調整)機能の充実を図ります。

高齢者が豊かな知識や経験を活かしながら、健康で生きがいを持って暮らせるよう、地域のなかで世代を超えて交流ができる環境づくりをすすめます。

まちの顔づくりプラン

名張地区既成市街地は、文化の薫りを活かした集客交流と活力があり暮らしやすい生活空間の創造を目指し、地域住民、商工業者、市民団体等と協働してまちづくりに取り組めます。

鴻之台地区・中央西地区の新しい市街地を広域的な行政、業務、情報交流の拠点として、都市サービス機能の集積など計画的なまちづくりに取り組めます。

名張駅周辺整備をすすめ、交通機能や都市サービス機能の充実を図るとともに、まちの顔にふさわしいシンボル性の高い都市空間を創造します。

地域づくり戦略

将来都市像を実現するため、目指すべき都市構造を踏まえながら、広域的な視点と身近な狭域的な視点から、「自立」と「連携」による豊かな生活空間の創造を目指します。

広域的な交流・連携ネットワークの創造

近畿と中部の結節点に位置し古くから関西方面を中心に多様な地域との交流が行われてきた本市の特性を活かし、広域的な交流連携をすすめます。

伊賀地域のレベルアップを目指す

新しく誕生する伊賀市との役割や機能分担を明らかにしながら、伊賀地域の一体的な地域戦略を構築し、それぞれの地域個性や特色を活かしながら、切磋琢磨することで相互のレベルアップを図り、伊賀地域を全国に発信します。

県境を越える一体的な生活圏の創造

人々の日常の生活圏や活動の広がりに対応して、県境を越えた奈良県の自治体とも、幅広い連携・情報交流をすすめ、相互補完による豊かな生活空間と広がりのある地域づくりを目指します。

住民主体の地域づくりと地域間ネットワークの創造

地域の資源や特性を活かした個性ある地域づくりをすすめるとともに、地域間の連携を強化と相互補完による、開かれた豊かな生活空間の創造を目指します。

個性が輝く地域づくり

リーディングプランに掲げた「地域づくり推進プラン」により地域づくりを重点的に推進します。

また、地域特性を活かした個性が輝く地域づくりが行われるよう、住民による地域ビジョンの策定を促進し、行政計画に反映します。

相互発展を目指す「地域間ネットワーク」づくり

それぞれの地域がもつ特性や機能を結ぶネットワークを形成し、多様なニーズに対応した拠点性の高いサービスや地域資源などを地域間で相互に補完しつつ、共同利用を図るなど、地域間の交流、連携による広がりのある生活空間づくりをすすめます。

政策の大綱

将来都市像を実現するため、目指すべき都市構造を踏まえながら、広域的な視点と身近な狭域的な視点から、「自立」と「連携」による豊かな生活空間の創造を目指します。

都市経営の視点

都市の自立性を高めながら、将来都市像の実現を図るため、市民起点の市政を基本に、次の方針に基づき持続可能な都市経営に取り組みます。

市民と地域を起点とする市政

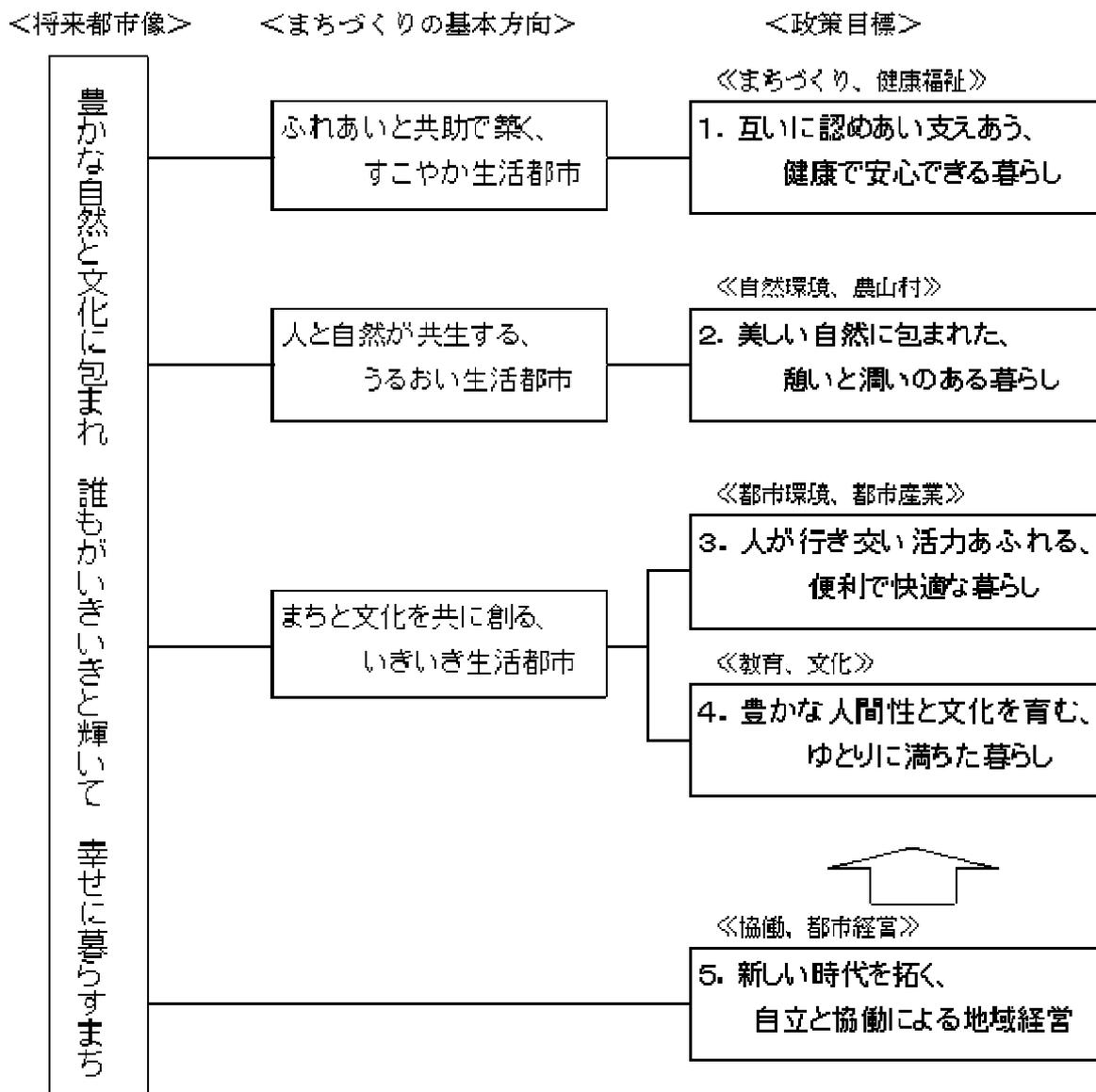
1. 透明で開かれた市政
2. 新たなパートナーシップの構築
3. 地域からの発想を重視する市政

良質なサービスを提供し続ける市政

1. 市民志向、成果志向の市政
2. 計画的かつ社会変化に柔軟に対応する市政
3. 効率的で健全な市政運営

政策目標と体系

将来都市像を実現するため、三つのまちづくりの基本方向にそって、リーディングプランや地域づくり戦略を踏まえながら、「暮らし」を視점에、次の五つの基本目標を定め、総合的・横断的にまちづくりに取り組みます。



施策の展開

1. 互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし

人を大切にする社会の創造

全ての市民が人間として尊重され、自由に社会参加でき、生きがいを持って暮らせるよう、あらゆる差別の解消を図るとともに、一人ひとりが個性を認めあい、ともに支えあうあたたかい社会の形成を図ります。また、男女共同参画社会の実現を目指します。

参加と共助の仕組みづくり

NPO(非営利民間組織)やボランティアなどの市民活動が活発に展開されるとともに、

住民主体の地域づくりの活動により、個性的で豊かな地域社会が形成されるよう、その仕組みづくりや支援体制の充実を図ります。また、互いに支えあい助けあう心豊かな地域社会づくりに取り組み、活動の拠点施設の充実整備などを図ります。

健康長寿のまちづくり

生涯を健康でいきいきと暮らせるよう、「自らの健康は自らつくる」ことを基本に、健康づくりについての意識啓発や、健康づくり活動に対する支援をすすめるとともに、医療、福祉等との連携による保健予防や地域医療・救急体制の充実を図ります。

自立を支える地域福祉

自立を基本に、相互に支えあう地域主体の豊かな福祉社会の実現を目指します。このため、必要な保健福祉サービスを確保するとともに、ユニバーサルデザイン(すべての人が使いやすい)のまちづくりをすすめます。安心して子供を産み育てることのできる環境づくりをすすめるとともに、社会保障の確保と就業機会の拡充などに努めます。

2. 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし

良好な地域環境づくり

環境保全意識の高揚を図り、市民、事業者、行政が一体となって省資源、省エネルギーに取り組むなど、身近な自然環境を守るとともに、地球環境にやさしいまちづくりをすすめます。また、恵まれた豊かな自然環境を、かけがえのない財産として大切に守り育て、人と自然が共生するまちづくりをすすめます。

循環型社会の創造

ごみゼロ・リサイクル社会を実現するため、廃棄物の減量化や資源化を積極的にすすめるとともに、限られた資源を有効に活用する資源循環型社会を構築します。また、廃棄物の適正処理に努めるとともに、不法投棄などのない清潔なまちを実現します。

新しい名張農業の振興と農山村の整備

山々や清流、田園と調和する美しい農山村景観の保全・整備を図ります。多彩な担い

手の育成や市民農園等を一層展開するなど多様な人々の参画と交流を促進する新しい農業を育てるとともに、森林の多面的機能を保持できるよう、都市と山村の交流による新しい森林管理の仕組みづくりに取り組みます。また、園芸福祉の普及などに努めます。

3. 人が行き交い活力あふれる、便利で快適な暮らし

計画的な都市環境づくり

地域の特性を活かした土地利用を図るとともに、総合的、計画的なまちづくりを住民との協働ですすめます。名張川など水と緑を活かした都市景観の形成をすすめ、質の高い快適な都市空間を創造します。また、活力と魅力に満ちた都市拠点の形成を図ります。

安全で安心な地域づくり

地域との連携による総合的な防災体制を確立するとともに、公共施設の耐震改修をすすめるなど、災害に強いまちづくりを推進します。消防・防災拠点の整備など消防・救急体制の整備、充実を図ります。また、防犯対策に取り組み、安全で安心な暮らしの環境を創造します。

快適な生活環境づくり

市民の快適で便利な暮らしを支える、生活基盤の整備、充実を図ります。このため、公共下水道の整備をすすめるとともに、市民皆水道の実現や、安全・快適な住環境の創造、斎場や墓地の整備・充実などを図ります。

総合的な交通対策

市民の生活の利便性や経済活動を支える幹線道路や地域間道路網の整備を総合的かつ計画的にすすめます。また、これからの時代にあった公共交通のあり方や、交通量の時間的な分散、道路交通施設のバリアフリー（障壁を取り除くこと）化など、総合的な交通対策に取り組みます。

都市産業の振興

人々の多彩な活動のなかから、新しい地域密着型の都市産業が次々と育つような、活力のある地域づくりを総合的に推進します。また、地域性を生かした地場産業の育成や、企業の誘致などをすすめるほか、地域づくりと連携して魅力ある観光振興を図ります。

4. 豊かな人間性と文化を育む、ゆとりに満ちた暮らし

生きる力を育む教育

子どもたちの豊かな人間性と生きる力を育む教育をすすめます。このため、自ら学び自ら考える教育内容の充実や、ゆとりある教育環境の整備を図ります。地域との連携などにより、公共心を育て、心身のバランスのとれた子どもたちを育成します。

豊かな心を育む生涯学習

誰もが、自由に学び、豊かな交流が広がるよう、学習環境の整備・充実を図ります。また、学習成果などが社会のなかで適切に評価され、生かすことができる仕組みづくりをすすめます。スポーツ活動の支援や施設の整備・拡充をすすめます。

市民文化の創造

豊かな歴史・文化資源を後世に継承できるよう、大切に守り育てるとともに、能楽をはじめとして積極的にその活用をすすめます。また、気軽に芸術や文化活動を行える機会の創出などを図るとともに、新しい多様な市民文化を創造して発信します。

5. 新しい時代を拓く、自立と協働による地域経営

協働のまちづくり

市政に関する情報の公開、提供を一層すすめ、市民と行政との情報の共有化により公平で透明性の高い市政を実現します。また、市民と行政が互いの特性を認識し、対等なパートナーシップ(友好的な協力関係)による協働のまちづくりを推進します。多くの市民が市政に参画できる機会や仕組みづくりをすすめます。

良質な行政サービスの提供

市民の満足度を重視する市民志向(顧客志向)の取組をすすめ、質の高いサービスを提供します。行政評価制度の導入や市民との約束制度などにより成果重視の市政を推進します。また、IT(情報技術)を積極的に活用し、市民サービスの向上を図ります。

持続可能な市政運営

民間の経営手法やコスト意識を重視し、簡素で効率的な行政運営を行うとともに、限られた財源を重点的かつ効果的に活用するため、計画的な行財政運営に努めます。継続的な改善に取り組むとともに、環境変化等不測の事態の発生時に的確に対応できる市政運営を行います。また、市民の活動の広がりに対応し周辺市町村との連携を強化します。

横断的に取り組む政策分野

健康長寿社会の創造

子育て支援・青少年健全育成

バリアフリーのまちづくり

安心・安全社会の創造

男女共同参画社会の創造

地域情報化の推進

新しい産業、地域雇用の創出